

**問** 本補助金の申請はいつかの商店街からあったのか。  
**答** 令和元年8月に埼玉県から活用希望調査の依頼があり、同年10月に各商店会へ調査を行った。その時点では希望は無かったが、令和2年3月に宮本商店会から街路灯のLED化の利用希望の申し出があった。



宮本商店会

## 健康福祉 常任委員会

5議案 可決

○行田市火災予防条例の一部を改正する条例

**問** 電気自動車用急速充電設備の全出力の上限を200キロワットまで拡大することの理由は。

**答** 電気自動車の走行距離の延伸ニーズの高まりや電池の

低廉化による大容量電池搭載車の開発、それに対応した急速充電設備の規格策定が背景にある。従前の規定では電気自動車の運転手が自ら充電できない等、使用実態と合わない事態が生じるおそれがあり、各市町村で特例基準を設けていたが、その地域差による不都合が生じていたため、今回の改正に至ったものである。



自動車用急速充電器

○令和2年度行田市介護保険事業費特別会計補正予算（第1回）

**問** 高齢者等配食サービス事業の利用者が増加した要因は。

**答** 独り暮らしや高齢者のみの世帯等、見守りが必要とする高齢者の増加が基本的な要因である。また、新型コロナウイルスの影響により、家族による訪問支援が難しくなり、本事業を利用するケースもある。

## 一般質問



専用アプリで読み取ると  
議会中継がご覧いただけます。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

12月定例会では16人の議員が一般質問を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、質問時間を短縮して行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法によりご覧ください。

- ◆インターネット議会中継  
生中継（開催日のみ）・録画放映がご覧いただけます。
- ◆会議録  
冊子は市役所市政情報コーナー、図書館、地域公民館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。  
※12月定例会の会議録は2月に発行予定です。



### 厳しい財政状況下での 新年度予算編成について

小林友明（新政策研究会）

**問** 財政構造の硬直化が叫ばれ、過去5年間の経常収支比率は危険水域と言われる90%台で推移し、特に昨年度は96.7%という異常数値になっているが、高止まりを是正する見通しはあるのか。

**答** 抜本的な見直しは難しく、財政構造の硬直化の進展は避け難いと思われるが、経常経費の削減とともに、既存事業全般や人件費の見直しを図ることと施策実現の財源を生み出していく。

**問** 総務省の試算では、令和3年度の地方税等がコロナ禍の影響で対前年度比8.3%の大幅減収となり、地方財政環境は極めて厳しくなると言われているが、本市では市税収入がどれくらい減収すると想定しているのか。

**答** 精査前ではあるが、令和2年度予算対比で約6%、概ね6億円程度の

減収を見込んでいる。市税の減少が見込まれる場合、国から普通交付税や地方特例交付金などの、一定の財源手当がある。

**問** 令和3年度の予算編成は、どのような状況か。

**答** 歳入に見合った歳出予算の編成が重要であり、今回は一般財源ベースで5%マイナスイノベーションを実施しており、平成30年度以降で最も大きい削減幅となっている。

#### ●観光のビジネス化

**問** 令和2年度末までに新たな観光振興組織、いわゆる行田版DMOを設立するため、事業経費を予算計上しているが、DMOの年間運営資金はどのように確保するのか。

**答** 新法人の令和3年度予算は約8900万円、財源は会費収入、物販収入、広告収入などのほか、市から補助金約4千万円を見込む予定である。